

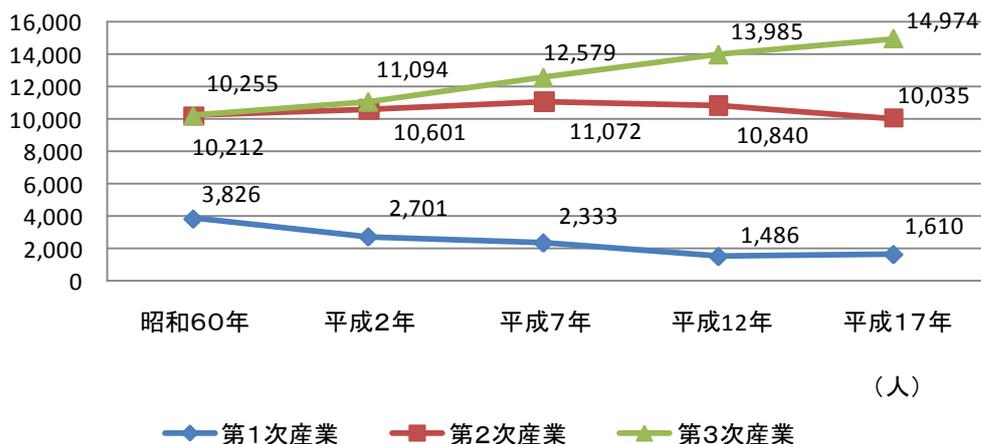
産業大分類別就業人口

平成17年の国勢調査によると、全就業者数は26,758人、就業率は54.1%となっています。産業別の人口割合は、*第1次産業が6.0%、第2次産業が37.7%、第3次産業が56.3%となっています。昭和60年からの20年間の傾向として、第1次産業人口が減少し、第3次産業人口の増加が顕著に表れています。

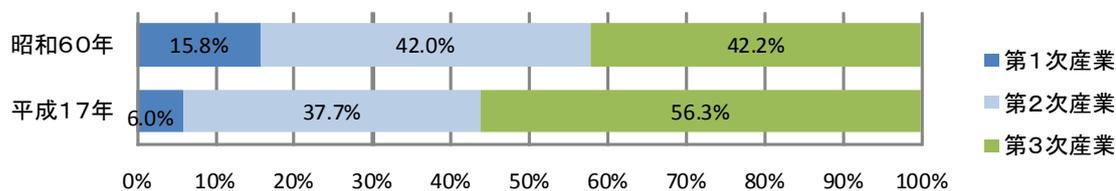
産業大分類別就業者数の推移 (人)

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
第1次産業	3,826	2,701	2,333	1,486	1,610
第2次産業	10,212	10,601	11,072	10,840	10,035
第3次産業	10,255	11,094	12,579	13,985	14,974
分類不能	27	18	13	31	139
合計	24,320	24,414	25,997	26,342	26,758

資料: 国勢調査



産業大分類別就業人口構成比



「第〇次産業」

日本標準産業分類では、第1次産業には農業・牧畜業・水産業・林業・狩猟業などの産業が、第2次産業には製造業・鉱業・建設業・ガス電気事業などの産業が含まれ、第3次産業には商業・運輸通信業・金融業・公務、その他のサービス業を含む。